



自衛隊栃木地方協力本部

首都圏攻防の要の実践部隊！航空自衛隊百里基地を見学！ ～協力団体の理解促進を図る。真岡市自衛隊家族会～

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は、6月27日（火）、真岡市自衛隊家族会（会長 植木 親久氏）26名の航空自衛隊百里基地見学支援を実施した。

最初に百里基地広報担当者からの基地概況説明を受けた後、戦闘機（F-12戦闘機）及び救難機（U-125A及びUH-60J）の見学を行い、パイロットから装備品や任務内容について詳細な説明を受けながら見学・記念撮影を行った。

「間近で戦闘機や救難機を見学できて感動しました！」「我が国の領空や国民の暮らしを守るために努力をされている隊員の皆さんの日々の活動を知ることができました」との感想があり、百里基地が首都圏に所在する唯一の戦闘航空団を擁し、首都圏攻防の要となる重要な航空基地であることの理解を深めるとともに、日夜練成訓練に励んでいる隊員への期待と信頼を更に高めた様子であった。さらに、広報資料館見学では航空機の再現コックピットでのフライトシミュレーターで本格的な操縦体験を存分に楽しんでいた。

体験喫食では「郷土料理の日」にちなんで「盛岡の黒じゃじゃ麺（若手県）」のメニューが提供され、参加者からは「様々な出身地の隊員が集まる自衛隊ならではの思いやりが感じられるメニューですね。とてもおいしいです」と好評を得ていた。

真岡募集案内所は「今後も、地域協力団体への部隊研修等を通じて自衛隊に対する理解と信頼を高めることに努め募集活動に繋げていく」としている。



基地の概要説明の様子



フライトシミュレーター体験をする参加者

隊員と家族をつなぐ茂木町自衛隊家族会！定期総会で防衛講話を実施！ ～自衛隊への協力・支援の重要性を再確認！～



令和4年度防衛大臣感謝状副賞の披露
(左：真岡所長 右：茂木町長 (小口 達也氏))

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は、7月3日（月）、令和5年度茂木町自衛隊家族会定期総会支援を実施した。

総会は、農村レストランの「そばの里まき」（茂木町）で行われ12名の会員・茂木町役場担当課住民課長（見目 和子氏）等来賓あわせて17名が出席し、対面での総会は実に3年ぶりの開催となった。当団体が所在する茂木町は、里山や棚田に代表される豊かな自然とSLSが停車する城下町の面影を残す市街地であり、町内にある「モビリティリゾートもてぎ」は多くの来場者で賑わっている。

総会に先立ち、令和4年度防衛大臣感謝状を受賞した茂木町の功績を紹介し、副賞の楯が披露されると出席者から大きな拍手が送られた。総会では会長（平野 和男氏）及び茂木町長（小口 達也氏）の挨拶ののち、議事が進められて全ての議案が承認され、質疑応答では「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う、制限の無い活発な活動に期待したい」など、活発に意見交換が行われた。

総会後は真岡所長による防衛講話が実施され、前段はDVDにより、変わりゆく安全保障環境について視聴し、後段は自衛隊の任務・役割や隊員の生活などについて講話した。講話終了後の懇親会では、茂木町名物の美味しいそばを味わいながら、会員からは「わかりやすい話で私たちが家族会の『自衛隊への協力・支援の重要性を再確認』できました」という感想が聞かれた。

真岡募集案内所は「今後も、地域協力団体との交流を通じて自衛隊に対する理解と信頼を高めることに努め募集活動に繋げていく」としている。



真岡所長の講話の様子



茂木町名物の美味しいそばを味わう



総会の様子